

平成31年3月7日(木)

会場; 御前崎市文化会館 2F 大会議室

1 あいさつ(河原崎全教育長)

SS 運営協議会も5回、最終回となった。今年度を振り返ると、『早寝・早起き・朝ごはん』で始まり、『早寝・早起き・朝ごはん』で閉められる。スクラムが大変浸透してきて、地域・学校・家庭・行政がスクラムを組んで、何に取り組むのかが、具体的にはっきりみえてみんなで取り組めた。アンケート調査を何回もとったり、大産業祭にも出店したりなど、新たな取り組みがあって、年度当初に比べると、数値的にも上がってきた。嬉しく思う。『早寝・早起き・朝ごはん』は、一つの方法であって、一番の目的は、基本的生活習慣を身につけてほしいということ。基本的生活習慣が身につけていけば、いろいろな可能性をもって頑張れるところからスタートしたと思う。みんなが力を合わせて頑張る中でひとつの結果が出た。嬉しい。

その中でまたひとつ、取り組む材料がでてきた。

ネット依存・ゲーム障害が心配される中で、子ども達のメディアにかかわる時間が多いのではないかということ。これも、基本的生活習慣を確立する上での、マイナス原因になっているのではないか。『ネットを使った保育』を心配する声を聞くことがある。若い親御さんへの呼びかけも必要になる。

来年に繋がるひとつの課題がでてきた。解決に向かってみんなで取り組めば、基本的生活習慣を身につけていく手立てに繋がるのではないか。

来年度も『早寝・早起き・朝ごはん』を継続して、御前崎市の教育の伝統として浸透していければ・・・と思う。

来年度の会長さん、そして、今年度の会長さん、役職を外れてもまたご協力をお願いします。

2 会長あいさつ(御前崎中学校区会長)

いよいよ本日が5回目。30年度の役員さん、一年間ありがとうございました。

31年度の新しい役員の方へ・・・このSS運営協議会は、1, 2回開催したからといって、目に見える成果が得られるものではないかも知れない。継続してやっていくことで、考える場を与えてくれる。是非これからも、継続をお願いします。

3 事務局からの報告とお願い

スクラムスクール運営協議会の取組について

- ・今年度の取り組みを現会長から聞いて、今年度やったことを来年度へ引き継ぎを。また、新たな取り組みをしていきたいと考えている。

(1) スクラムスクール運営協議会の役割

- ・「学校・家庭・地域・行政がスクラムを組んで、子ども達を育てていこう」というために、つくられた組織。この会で話し合われたことが一つでも課題が解決されていくように願っている。

(2) 平成30年度の取り組みの内容について

- ・この会ができて4年目。1, 2年目は、スクラムグッドマナー運動に取り組んだ。毎月10日をグッドマナーの日として、みんなであいさつをしている。徐々に盛り上がってきている。来年度も継続を。
- ・昨年は、スクラムカレンダーの作成と全戸配布。地域、学校・園の行事を少しでも地域の方に知ってもらって、子ども達への関心を高めて、一緒になって子ども達を育てていこうという思いをつくっていき

たいと考えた。ボランティア中心に作成されている。PR して行って下さい。

(3) 各園・校の PTA の総会で「早寝・早起き・朝ごはん」の呼びかけについて

・『早寝・早起き・朝ごはん』の『朝ごはん』に視点を当てて、アンケート年3回実施。

園と小学校は、99%。中学校は、96%。結果は、県より上回った。

そうしていく中で、ゲーム・スマホ依存になっている子ども達がいるという心配がでてきた。

この会で話し合いをしてもらえないかという提案があったので、アンケートをとった。

今日はアンケートの結果報告をさせて頂く。

是非、4月の総会で『朝ごはん』について取り組んだ結果、『多くの子ども達が朝ごはんを食べてくるようになった』ということをお話して欲しい。朝ごはんを食べてくると、活動や学習がきちんと行われる。より良い力が身についていくことを、校長・園長と相談して話をして欲しい。

4 市内全小・中アンケート結果から

(1) 小学校1年生から中学校3年生までの「インターネットの使用(SNS・オンラインゲーム等)についてのアンケート結果」の公表

・経緯報告・各校の生徒指導の先生から。インターネット・SNSによるトラブル・情報漏洩・拡散などの問題に困っているという話が出ていた。まず、実態をしらべていこうということでアンケートを取るようになった。

(1月23日に話が出て、2月中旬に学校の方でアンケートをとった。)

・アンケートには、2406名が回答。子どもに目的を伝えてから実施。マークシート方式。小学1年から3年生まで。ひらがなのもの。4年生以上は、別のもの。5択。(集計作業は、御前崎市で契約しているICT支援員の協力を得た。)

・アンケート結果の報告。(別紙を使って)

(2) アンケート結果を受けて、平成31年度に運営協議会で取り組む内容の提案

- ① インターネット利用による危険性の広報・啓発の必要性。(危険と知らずに使っている現状があるため)
- ② 子ども・保護者・地域・行政が一体となって対策・取り組みをしていく必要性。

(3) 意見交換

(参加者より)

・大変細かい調査をよくここまでできたと感心する。

夜9時以降にインターネットをさわっている子が4分の1から3分の1いる。『早寝・早起き・朝ごはん』をやってきたが、『早寝』が全く出来ていないのではないかと。今年度は、朝食を主にやってきたが、早寝することは脳の発達に関係する。ゲーム依存は世界的な問題。子ども達だけの問題ではない。兄・姉がどうかということもかなり影響を及ぼしているのではないかと。家庭全体で子ども達の環境を考えるべきだと思う。家庭の中までもうちょっと踏み込んだ展開を考えていくと良いのではないかと。

(課長より)

『早寝・早起き・朝ごはん』を確立していくことは、人としてとても重要なもの。地域・家庭を巻き込んで皆さんのお力をお借りして取り組んでいきたい。

(参加者より)

- ・スマホ・インターネット等はこれからもどんどん家庭の中へ入っていく。便利な物で有り続けると思う。便利なものには、必ずルールやモラルとかが必要。スマホは、出来て11年め位。危険なものもあるが、便利なものもあるスマホを使いこなすためには、モラルや道徳だけで守ろうとすると、ルールをつくらないといけないと思う。そうなった時、このグループでは、例えば、市全体でスクラムスクール標準をルールをつくってみるのはどうか。・各家庭で状況がちがうので、マイホームルールも有りとして。この協議会として『たたき台としてのルール』を作ってみるのはどうか。という意見がでた。

(課長より)

- ルールをどうやってつくっていくかということは、難しいところがあるかもしれない。小1の結果を今回出したのは、園と小1は違うが、重なる部分があるのではないかとあって、あえて小1を出した。

(参加者より)

- ・1年生の数値に驚いた。インターネット等は悪ではない。この時代、「やめましょう」とは言えない。便利だが、使い方が問題。保護者の今までの使い方や考え方の差もあるのではないかと。インターネットは便利だが、家の人との約束作りが必要。

(課長より)

- この会には、園関係の人が、半分近くいる。園の方々が、この会で決めたことを園の時代から生かされる動きがあるといいなと思っている。

(参加者より)

- ・メディアに関するアンケートが実現できたことが嬉しい。この数字が全てではないけれど、これからの中で深めていく材料が出てきた。
- ・オンラインゲームでの課金について
小学校1年生でもやっている子がいる。子どもが一人でやっているのではないだろう。親とのかかわりの中で、こういう数値が出てきているのだろう。これからは、家庭がどんな風に取り組んで、扱われているのか。家庭に踏み込んでいくことがあってもいいのでは・・・。
学校という見方をすると、この数値を見て、「怖いからルールをつくりましょう」と言っても、子ども達は、「そんなことわかっている」と言ってどんどんやってしまうということがあるかもしれない。ここでもう少し踏み込んで、どんな危険性があるのかを実態を含めて、話し合いを深めて、子ども達でルールを作っていくという方向に向ける方策を考えていくことが必要かと思う。

(課長より)

- 子ども達へのアンケートをとったので、その結果を公表すると共に、保護者に向けての啓発をかねての調査等も行えばどうかという提案を頂いた。

(教育長より (一参加者として))

- インターネット・スマホ以外にも必ずTVも観ている時間もあるだろう。この結果に出ている時間のまた2~3割強がメディアと関わっているのだろう。脳の問題も大変心配しているが、インターネット・スマートホン等をやっている、他のことはしていないだろう。この時間を使って、もっといろいろな事をすれば、その子のもつ可能性が広げられるのではないかと。特に、休みの日に、TVを見たり、ゲームをやったりして、過ごしているのは、もったいないと思う。シャットアウトすることはできないが、

はじめをつけながら、もっともっと自分のために、可能性を広げる事に時間を使ってもらえたら・・・と思う。

(課長より)

このアンケート結果は、各校ごとまとめたものが各校でみられるようにしてある。5月にSS運営協議会の第1回めが開かれる。結果をみて感じたことを話していただき、今日出た意見が実践できるようにしていければと思う。できることを進めながら、効果のあるものは是非探っていきたい。

5 指導・助言

○静岡大学 中村先生

SS運営協議会が活発に運営されている。インターネットアンケートが重要。一番大事なのは、これがスタートということ。このデータを元にして、必要に応じて追加の調査をしたり、分析の角度をいろいろ考えたりして、御前崎市の教育に資するような方向性を見いだせればと思う。

インターネットからは、逃れられない。学校でもインターネットにかかわる教育が導入されスタートしていく時期。2020年からプログラミング教育が全小学校に導入される。『どうしたら、楽しく使えるか』『大人も子どももインターネットをどうやったら、適切に使えるだろうか』を議論していくことが、大人の責任としてやっていく必要がある。

インターネットの利用率の高い状況の国をみると、問題になっているのは、デジタルデバインド(分断)。インターネットをきちんと使える層と全く使えない層が完全に分離しているという現象が世界中に起きている。この差がなるべく生じないように、全員が、適切にインターネットを使える環境をつくっていくことが大人の責任になっていくのではないかな。

総務省がスマートホンの利用率を調べている。一番多く利用しているベストスリー。1位ライン。2位ゲーム。3位動画。スマートホンは、高価でいろいろな機能がある機器にも関わらず、この3つしか使っていない現象が起きている。適切に使う教育を受け、自分の興味関心を深めていった子ども達が適切に利用できると、子ども達の可能性を広げることに繋がる。

今のこどもは、メールが使えない。メールの送受信ができない子が年々増えている。場合によっては、大人側が歩み寄る必要があるかもしれない。

ルールが大事ということに共感する。ルールは、一方的につくられたものでは、成り立たないし、守らない。子ども達がどんなルールを望んでいるのかにも、気を配りながら、一緒にルールをつくる環境づくりが進むと良いのではないかな。

禁止するという行為は、わかりやすい行為だが、禁止しても子どもは使いたいので→隠れて使う。

隠れて使うとき、リスクが高いのは、大人の目の届かないところで起こるネガティブな事が増えるということ。禁止すると→隠すことに繋がる→すると、リスクが高まる。むしろ、禁止を禁止するという必要か。共にルールを作っていくながら、オープンな形で、インターネットについて話し合う・コミュニケーションをとっていくという事が大事。

○静岡大学 島田先生

1, 一年間を振り返った時、調査に基づいた意見交換が行われたと思う。

「早寝・早起き・朝ごはん」「インターネット」について出た結果を元に意見交換→そして、足りないところの調査の提案があって、フィードバックされてまた、意見交換があった。今年度、データに基づいて、実態改善がみられた。

2, 内容面でみると、

「早寝・早起き・朝ごはん」「インターネット」についての『家庭での実態把握』が多かった。

家庭での生活にかなり踏み込んだ意見交換が多かった。家庭というのは、個人の自由な空間。そこには、行政等が入り込みにくいコミュニティになっている。口出しをするのは、難しい。今回の事は、家庭の考え方に基づいて出てきた現象。これを解決していくのは、かなりの難問題。

市から各校とか PTA に戻されたデータを皆さんのフィールドの中で『保護者・先生達は、どう思ったか?』から始めていきながら、各々のところで改善策を考えていくと良いのでは・・・。

どうしても困ったら、SS 運営協議会の場で、声明・ルールを出すということがあるかも知れない。しかし、それを、画一的にやると、地域の実態に合わないかも知れないので、スクラムを組みながら、子ども達の命を守りながら、より良い成長を願っていくのが大人の責務だと感じている。

6 連絡

(1) 第1回 平成31年5月16日(木) 19時 御前崎市役所 3階 301会議室

31年度は、一度、講師を招いての講演会を開催したいと思っている。

○池新田高校の校長先生より

池新田高校が100周年を迎える。ポスターを飾って欲しい。生徒が持って行くかもしれないので、宜しく願いいたします。